
開講科目名：国際取引法研究 (4単位)

開設年次：1年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：ウミリデノブ アリシエル

《授業の概要》

授業の概要

国際取引において、国際ビジネス紛争解決は重要な役割を果たす。大学院向けの本授業では、国際取引に関する紛争解決の一種類として、国際商事仲裁について講義を行う。特に、グローバル化されている世界で重要性がますます高まっているアジア諸国において商事仲裁を検討対象にする。まず、国際商事仲裁に関する評判のあるテキストを受講生と読書し、各テーマに関する現代の問題状況を把握する。次に、アジア諸国の商事仲裁制度の近年の発展を比較的に概観し、重要な事例を検討する。

この授業を英語で行う。したがって、参加者には議論に参加できるレベルの英語能力が必要となる。

授業計画

- 第1回 国際ビジネス紛争解決と国際仲裁
- 第2回 国際商事仲裁の概念、歴史
- 第3回 仲裁の現状と課題
- 第4回 仲裁合意 (1)
- 第6回 仲裁合意 (2)
- 第7回 仲裁の申立て
- 第8回 仲裁人と仲裁廷
- 第9回 審理手続
- 第10回 暫定措置
- 第11回 仲裁判断
- 第12回 仲裁判断の取消し
- 第13回 仲裁判断の承認と執行 (1)
- 第14回 仲裁判断の承認と執行 (2)
- 第15回 投資協定仲裁 (1)
- 第16回 投資協定仲裁 (2)
- 第17回 仲裁費用
- 第18回 アジア諸国の仲裁制度
- 第19回 国別報告 (1)
- 第20回 国別報告 (1)
- 第21回 国別報告 (1)
- 第22回 国別報告 (1)
- 第23回 国別報告 (1)
- 第24回 国別報告 (1)
- 第25回 ICC (国際商業会議所)
- 第26回 JCAA (日本商事仲裁協会)
- 第27回 CIETAC (中国国際経済貿易仲裁委員会)
- 第28回 SIAC (シンガポール国際仲裁センター)
- 第29回 HKIAC (香港国際仲裁センター)
- 第30回 まとめ

評価方法

出席を重視する。参加者には発表を課す。

《テキスト》

The Principles and Practice of International Commercial Arbitration, Margaret Moses, 2nd Edition (2012)

《参考書》

International Commercial Arbitration: An Asia-Pacific Perspective, S. Greenberg, C. Kee, J. Weeramantry (2011)

Comparative International Commercial Arbitration, J. Lew, L. Mistelis, S. Kröll (2003)

Fouchard, Gaillard, Goldman on International Commercial Arbitration, P.

Fouchard, E. Gaillard, B. Goldman, J. Savage (1999)

他の参考書について、次のホームページを参考：

<https://international-arbitration-attorney.com/international-commercial-arbitration-books/>